

チームオレンジの取り組みについて

～今より少しだけできることを探して～

高知県 黒潮町地域包括支援センター
山崎 茜
特定非営利活動法人しいのみ事務局
濱村 美香

黒潮町の基本情報

令和4年6月末現在

総人口 10,505人

65歳以上人口 4,769人

高齢化率 46.06%

認定率 17.4%

第1号被保険者月額 5,600円



今後の黒潮町の予想

- ・認知症高齢者の増加↑ (ここ5年～10年間がピーク)
75歳以上の後期高齢者が増加↑することで、重度の認知症が増加、軽度の認知症の方への関わりも引き続き必要。
- ・独居、高齢世帯が増え、家族の中で支援者、介護者がいない家庭が増える。
在宅においても知症の方への対応がわからず、虐待に・・・介護者のストレスも増える。セルフネグレクト・・・
- ・若年性認知症、団塊世代の多種多様な高齢者への対応が必要

黒潮町の認知症の取り組み

認知症予防

脳トレ教室
認知症講演会

認知症対応力の向上

地域の見守り

認知症サポーター養成講座
認知症カフェ
認知症家族の座談会
認知症ミニ講座

チームオレンジ

早期発見・早期対応

確定診断・適切な医療

認知症疾患医療センターとの連携
認知症初期集中支援チーム

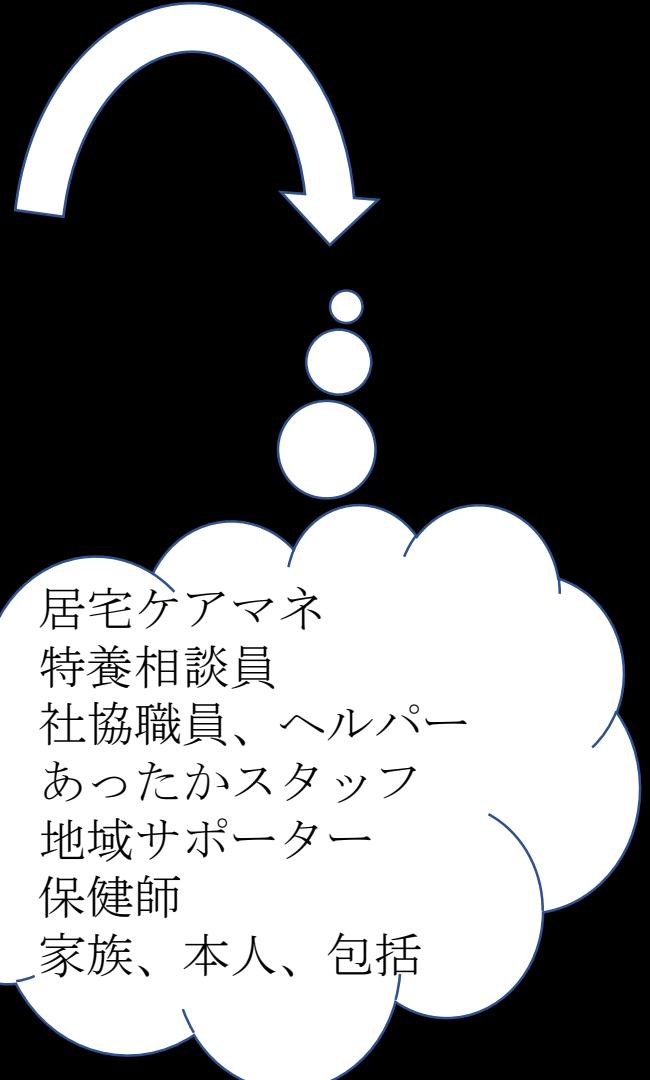
介護サービス整備

認知症対応グループホームの運営推進
小規模居宅介護支援事業所の活用

高齢者の権利

高齢者虐待予防

チームオレンジの立ち上げにむけて



認知症対応力の向上

認知症サポーターステップアップ研修

認知症について正しく理解し、温かく見守る理解者、応援者から一歩進んで、活動できるように認知症サポーターステップアップ研修を実施します。

認知症の人や家族へ声掛けをする中から、直接サービスが必要と感じたら、継続支援が行えるようにつなげる、また、地域で必要な活動を実際行えるように、学習し、チームを作つて活動をします。



チームオレンジ

チームオレンジ

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るように、認知症サポーターの活動を前進させ、地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターを結びつける為、地域づくりに向けて実践するチームを作り、認知症の人や家族に対する生活面の早期からの支援を図る為に行動します。

認知症サポーターステップアップ講座

令和元年度

- ①令和元年11月27日
- ②令和元年12月25日
- ③令和2年1月15日

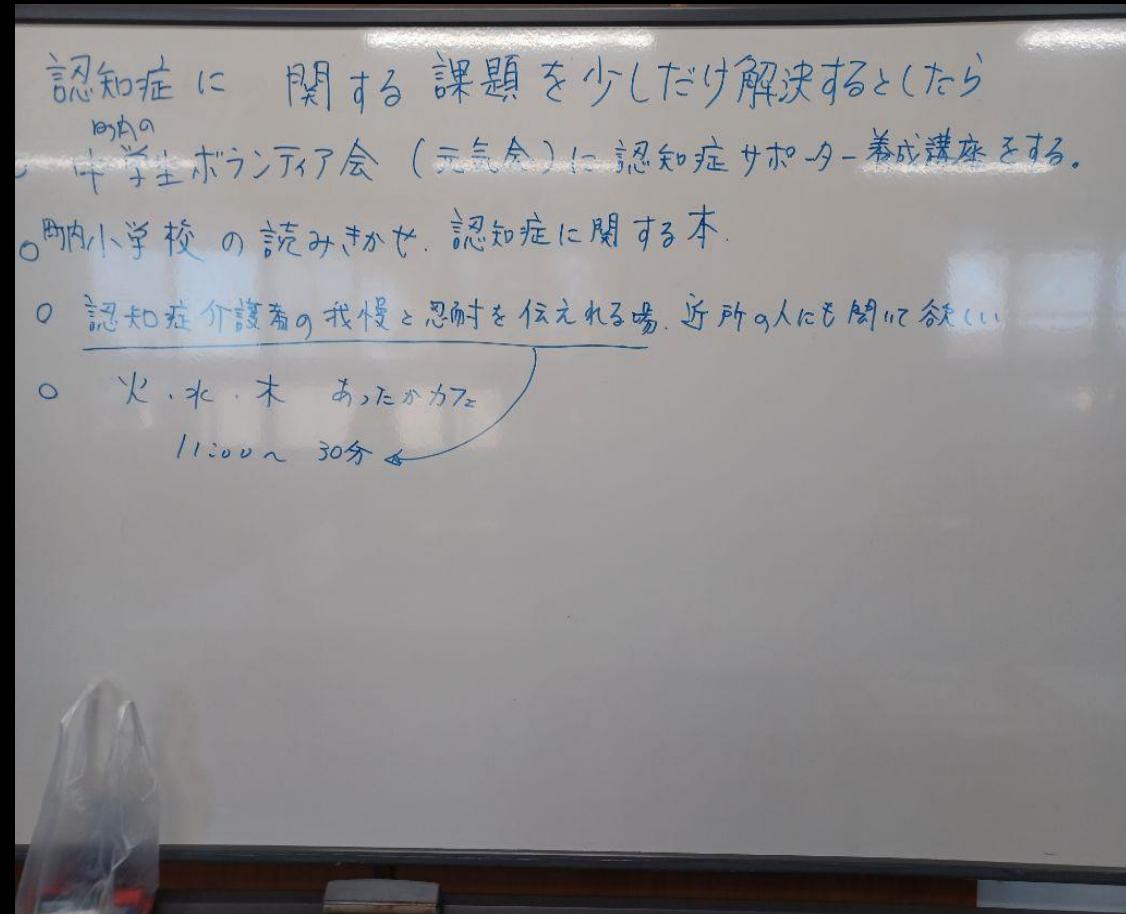
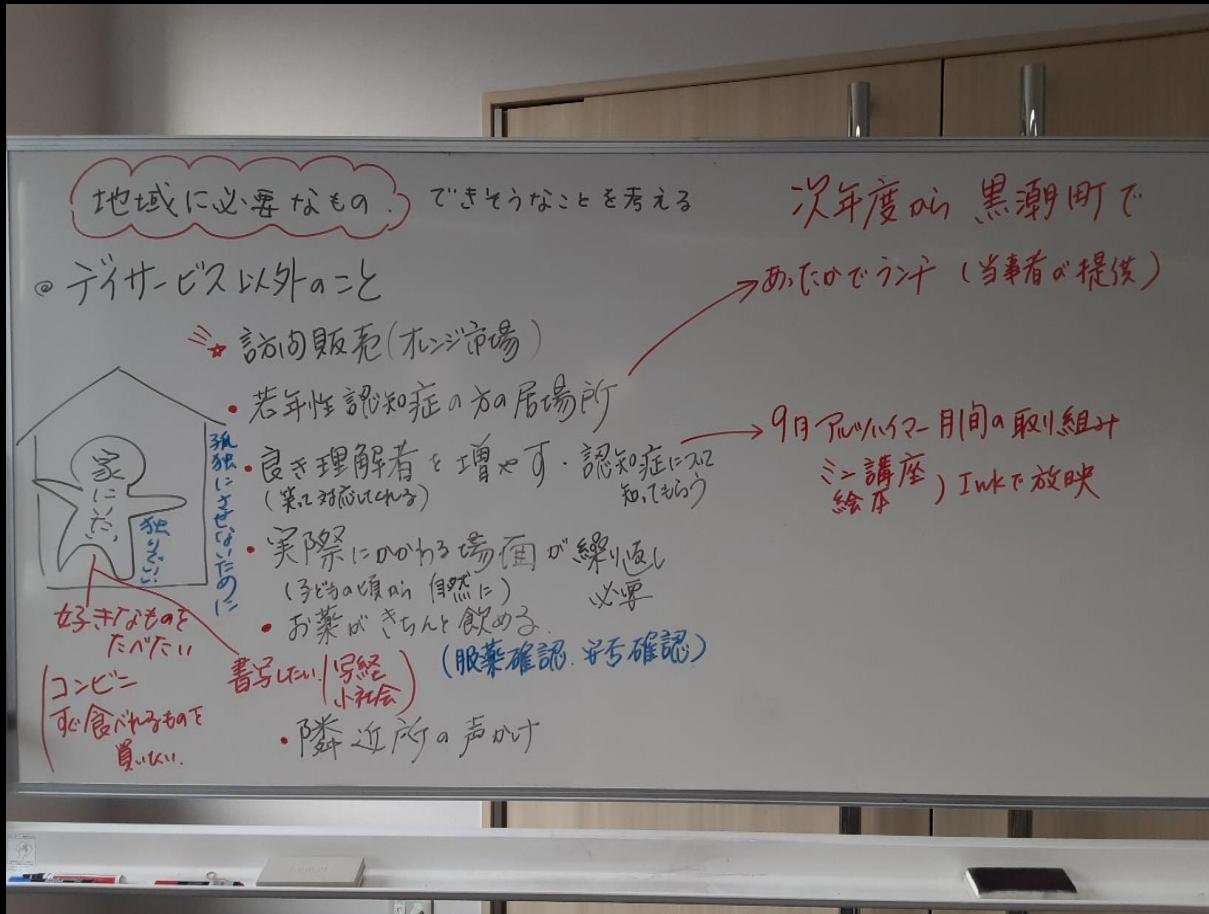
認知症の理解を深める
認知症の発症リスクを減らす
認知症サポーターの活動事例

令和3年度

- ①令和4年 1月12日
- ②令和4年 2月 3日
- ③令和4年 2月24日

認知症の理解を深める
認知症の発症リスクを減らす
認知症サポーターの活動事例

チームとして少しだけできそうなことを考える



チームオレンジの活動



年間2~3回の打ち合わせ会



良き理解者を増やす・認知症について知つてもらう

認知症ミニ講座

認知症よりそいかるた

認知症に関する絵本読み

認知症サポーター養成講座

→ ケーブルTVで放送



若年性認知症の方の居場所づくり

若年性認知症の方と家族の座談会に参加

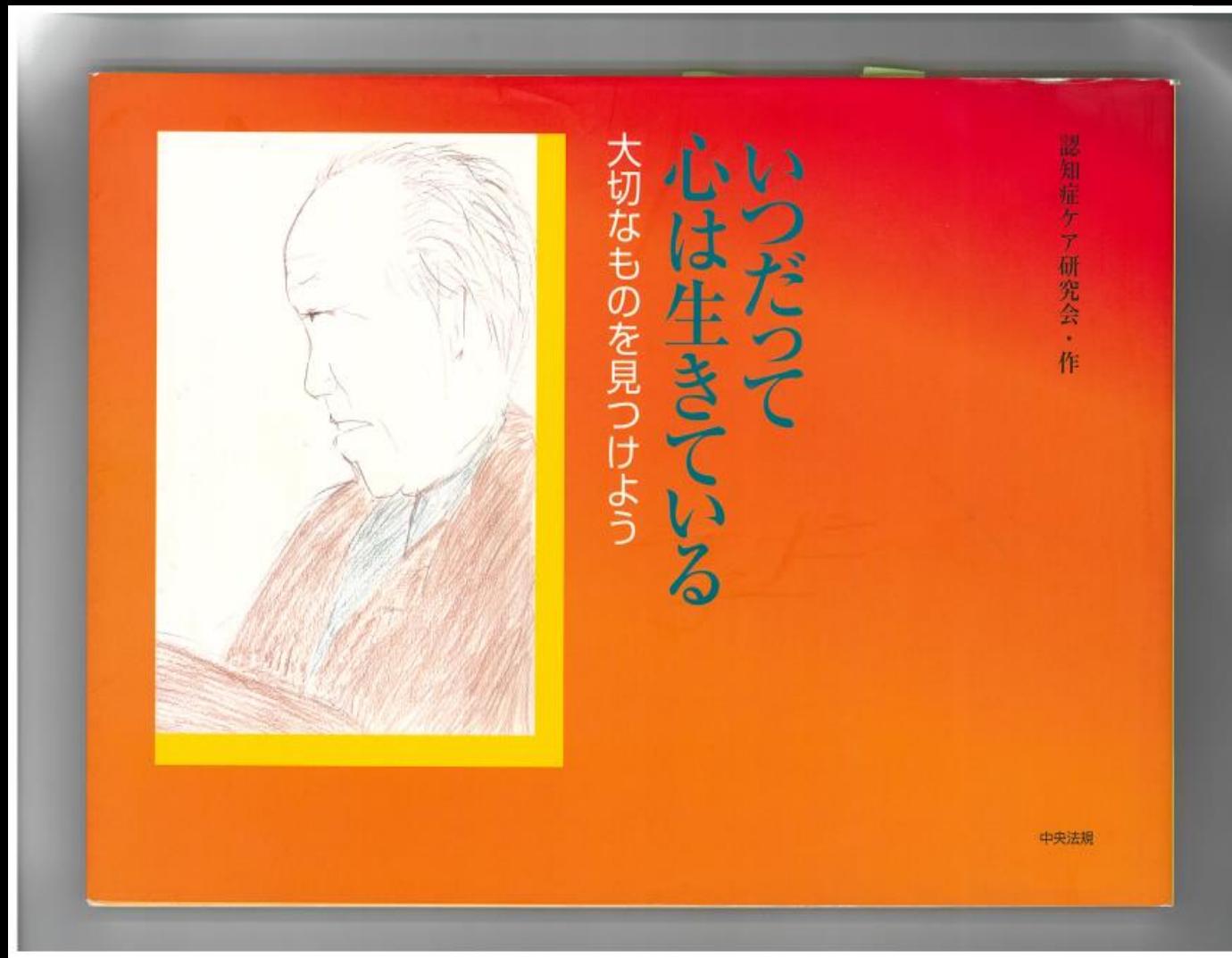
若年性認知症の方と家族の屋外座談会

(屋外ピクニック)を開催

認知症カフェ、認知症サポーター養成講座







認知症ミニ講座



認知症ミニ講座



テレビに映るので若干緊張しています。

認知症についての基本的な話を聞くことができて勉強になって良かった。

身近なことを質問できて良かった。

認知症よりそいかかるた



笑み戻り

よりそう介護で

に 認知症

かい
ご



認知症よりそいかるた

イラスト:高知県立山田高等学校マンガ部
事務局:高知県中央保健福祉部

に 認知症 よりそいかるた
かい
ご
笑み戻り

【詠人の思い・メッセージ】

認知症の家族の方を悩ましているさまざまな周辺症状は、家族や周りの人人が、認知症の方の立場に立つて接することで、症状が穏やかになるともいわれています。また、そうすることによって、家族の負担の軽減にもつながるのではないか。でしょうか。

詠人 (みずやっこ)



な 長袖に 足をつつこむ 得意ワザ

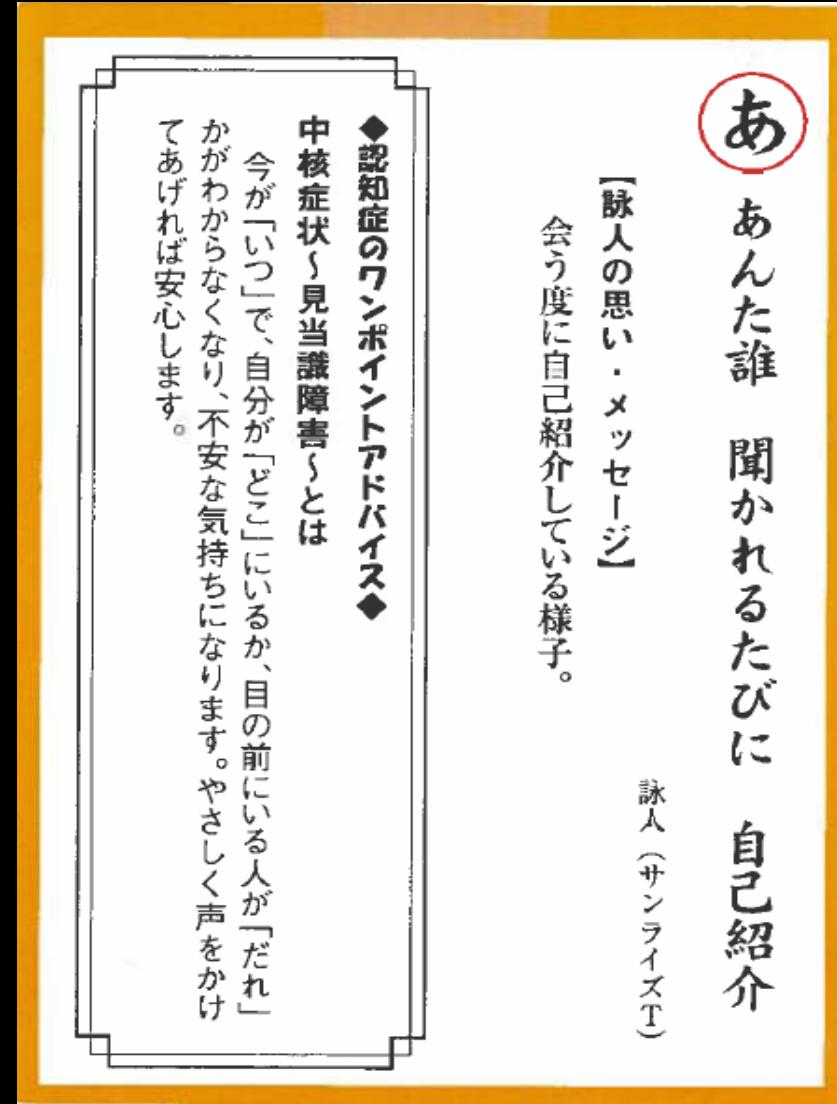
詠人(さ)

【歌人の思い・メッセージ】

風呂上がりにベッドに腰をかけて長袖の肌着に足を入れている様子。思わず笑ってしまう。

◆認知症のワンポイントアドバイス◆

認知症になると、もの忘れを中心に、記憶力・理解力・判断力が衰え、今まで一人でできていた通常の生活ができにくくなります。





さ

サポーター みんなで支える 理解の輪

詠人（カナリア）

【詠人の思い・メッセージ】

認知症の人とその家族を見守る認知症サポーターが増え、安心して暮らせる地域を目指して！

◆用語説明◆

認知症サポーターとは

認知症サポーターとは、認知症の人の「応援者」です。特別な事をする人ではありません。認知症について理解し、認知症の人を温かい目で見守ることをいいます。

若年性認知症の方と家族の屋外座談会



コロナ禍で外出して食事をすることができなく外の景色を見ながらみんなでお弁当を食べてストレス解消になった。

机を囲んでの座談会は参加しづらかったけど、本人も参加して一緒に体を動かすことができてこういった会であれば参加しやすい。

体を動かし、お弁当を食べて仕事のストレスも解消
(^o^)

今後の展望



「おたがいさま」の心で彩る 笑顔あふれるまちづくり 黒潮町地域福祉計画の理念

支えあいと介護予防でいきいき・元気に暮らせる安心のまち 黒潮町介護保険事業計画

ご清聴ありがとうございました



おわり

